

今ならまだ間に合います 西宮市政に 成長戦略を!!

リーダーが変われば政治が変わる。政治が変われば私たちの生活が変わる。
一緒に変えましょう、今の西宮、未来の西宮。

緊急提言

物価の上昇は、私たちの日常に静かに入り込み、気づかないうちに確実な影響を及ぼしています。だから!

- 水道料金を含む家計の固定費を軽減
- 国・県との連携強化により市民が実感できる物価高対策
- 地域経済の活性化にもつなげる、地元店舗や公共交通で使えるクーポンの発行

これらを通じて、家計の不安を和らげ、地域全体で物価高を乗り越えられる政策が急務です。

前西宮市議会議員 [6期・22年]

田中まさたけ

さんは、

西宮を守るために多様な政策を提案し、実現に導いてきました。



実現された政策 【一部紹介】

22年前の危機的な財政難を克服

初当選直後の一般質問で財政改革を主張。4年間で累積約280億円の改善に成功。その後10年で財政基金(貯金)が130億円増加。

小学生の放課後の居場所づくりは進行中

平成22年に一般質問で提言。現在、33の小学校で放課後キッズが開設。全校実施へスピードアップが急務。

登下校時の防犯対策「ミマモルメ」の導入

平成16年12月議会一般質問でICTを活用した通学の防犯システムの導入を提案。平成23年度より導入、令和3年度から学校との出欠連絡も可能に。

市立学校体育館へのエアコン整備を実現

「できない理由」をあげる市に対して、平成30年12月議会一般質問で「できる方法」を提案。令和7年度に全ての市立学校で実現。

ゴミステーションでのカラス対策を実現

平成15年一般質問、平成30年度視察報告書で提言し、令和2年度から折り畳み式ネットボックス等購入補助制度開始。

田中正剛 たなかまさたけ [経歴]

昭和50年7月、会社員の家庭に生まれる。
大阪府立四条畷高等学校、神戸大学工学部卒業。
元市議会事務局に4年間勤務。
平成15年4月に西宮市議会議員選挙初当選(27歳)。
6期連続当選、22年3ヶ月間全力で市政に邁進。
妻と子ども3人の子育てを経験。剣道初段。

市議会議長として議会事務局業務改善に取り組むとともに
兵庫県市議会議長会会長として全国市議会議長会で
政策提言をするなど国との連携に関する経験を積む。

今の流れを変え、成長の未来へ。



重点戦略

New Wind

西宮の未来を考える。



1 子育てがしやすいまちへ【少子化に歯止めを】



ここが問題!!

11年連続で保育所等の待機児童を解消できず、利用保留児童は1,148名。この不平等を解決しないうちに、7年間で6歳までの子どもが約20% (約4,800人)、14歳までの子どもは約12% (約8,000人)、出生数も約22% (約900人) 減少しました。

だから!!

- 廃止する市立幼稚園の活用、保育士確保の強化等により、待機児童を即時解消。
- 第2子以降の保育料の無償化や兄弟枠の設定。子育て世代の不安や負担を和らげる環境を整え、安心して子どもを育てられるまちへと立て直す必要があります。

2 子どもの学びを全力応援



ここが問題!!

今のままでは、来年度、市立中学校での部活動がなくなります。さらに、「プレみや」の会費は保護者負担となっているため、現状が続けば、子どもたちの学びや成長の機会の喪失とともに、保護者の経済的負担も一層増大していきます。

だから!!

- 令和8年夏に部活動を原則終了するという現在の方針を撤回し「プレみや」が定着するまで部活動を継続。
 - 幼児教育への投資の強化、子どもの育ちを市がバックアップ。
 - 高校生の通学費補助。
- 特に部活動に対する取組みは、今やらなければ手遅れになります

3 将来への投資強化でインフラ整備と強い経済を

[全国中核市62市との比較/令和5年度]

公共施設老朽化度 (有形固定資産減価償却率)	西宮市 68.6%
12番目に高い [中核市62市中]	41.9% 中核市最低

ここが問題!!

学校や公共施設、道路、水道管などインフラの老朽化が進み、公共施設の使用料も8年で2回、最大1.5倍に値上げされています。さらに、ふるさと納税は令和6年度に32億円の流出超過となり、課題を先送りすれば市民の負担が増します。

だから!!

- 老朽化が進む水道や下水道の更新をスピードアップし、安心・安全を強化。
- 学校の改修を促進し子どもの学びの環境と安全性を向上。
- 市内企業の育成や地域経済の活性化、産業振興に投資。市民にだけ負担を求めず、国や県とも連携して未来の財源を増やす必要があります。

4 安心して住み続けられる明るい西宮へ



ここが問題!!

北部地域では救急体制への不安が残り、バス交通など市内移動の利便性が低い地域が放置されています。さらに介護人材の確保が進まず介護難民が増える恐れも。7年間で人口は約6,000人減少し、まちの活力は失われつつあります。

だから!!

- 塩瀬・山口地域を含む地域格差の是正。
- 医療や交通、防犯、防災など安心・安全の取組みを強化。
- 外出支援など介護予防の重点化と介護人材の確保。
- 指定ごみ袋の見直しなど、ごみ出し負担の軽減。市内どこでも安心して住み続けられる環境整備が必要です。

5 市民のための政治を取り戻し、市役所をもっと未来志向に

[全国中核市62市との比較/令和5年度]

経常経費に占める 人件費の割合	西宮市 31.6%
ダントツ1位 [中核市62市中]	14.9% 中核市最低

ここが問題!!

人件費改革に取り組まないまま赤字体質を放置した結果、財政は危機的状況に。「財政構造改善」は市民の負担増に偏り、人件費比率は中核市でトップ。市職員給与と民間給与の格差も約1.5倍となっています。

だから!!

- 財政赤字を即刻改善し、EBPM(根拠に基づく政策立案)により税金の使い方を改革。
- 市長直轄のすぐやる課を設置し、課題の解消をスピードアップ。目先の対応では「じり貧」に。財政を立て直し、将来を見据えて今やるべきことに集中投資する必要があります。

具体的な政策集はホームページに掲載します。資料をご希望の方は事務所までお問い合わせください。

市民との対話なくして真の政策なし



皆様とともに未来の西宮をつくるため、対話を重視しミニ集会を実施しています。お問い合わせは「西宮ジャンプアップ戦略事務局」まで。ご意見もお待ちしております。

西宮ジャンプアップ戦略事務局

〒662-0854 西宮市榎塚町3-4-304
TEL. 0798-22-5172 FAX. 0798-22-6172
E-mail. jumpup.nishinomiya@gmail.com

[公式LINE]

[公式サイト]

